

8. 一たり、一たら、一ながら

-거나

語幹に付いて、二つ以上の動作や状態を例に挙げ、羅列するときに使う。

-(으)면

語幹に付いて、仮定や条件を表す。「-되다」、「-안 되다」と一緒に使い可能や不許可の意味を表すこともできる。対立する二つの事実を述べるときに使う。動詞の語幹末にパッチムがなかったり、「ㄹ」パッチムの場合は「-면서」が付き、パッチムがある場合は「-으면서」が付く。

-(으)면서

動詞の語幹に付いて、二つの動作が同時に行われるときに使われる。よって「-(으)면서」の前と後の動作主が同一でなければならない。動詞の語幹末にパッチムがなかったり、「ㄹ」パッチムの場合は「-면서」が付き、パッチムがある場合は「-으면서」が付く。

会話のヒント

- ☆前と後ろの意味の流れをよく考えて使おう!
- ☆動詞/形容詞の語幹末のパッチムを素早くチェックして語尾を変化させよう!
- ☆「ㄹ」不規則動詞に気を付けよう!

- 1 普段休日はどういったことをしながら過ごすか話してください!
- 2 自信のある料理の手順を説明してください!

♀ キーワード

- 휴일:休日 / ● 취미생활:趣味生活 / ● 휴식을 취하다:休憩を取る / ● 즐기다:楽しむ / ● 다지다:刻む / ● 자르다:切る / ● 볶다:炒める / ● 끓이다:煮る / ● 굽다:焼く